



## 『 人間ドックの日 』

---

一見元気そうでも、見えない病気が潜んでいる事があります。

糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、かなり進行しないと自覚症状が現れないと言われていていますし、がんは自覚症状が現れた段階では治療が極めて困難であると言わざるをえません。

しかし、これらの病気も早期にその芽をみつけて、治療を始めれば、治癒させることもできます。

一般的に会社で行なわれる定期健康診断や医療保険者が実施する健康診査（特定健診）などは、検査項目が限られているため、体全体をチェックするには限界があります。

一方、人間ドックは多項目にわたり詳しく検査を行うため、多くの病気の早期発見に効果があります。

日本では1954年7月12日に初めて人間ドックが行なわれたことを記念して、7月12日を人間ドックの日と定めています。



今まで人間ドックを受けたことがない方も、人間ドックの日を設けて、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。



鹿児島県厚生連  
中央検査室 穂山 和章